



2023年 11月号

一之宮

Vol.

まち協だより 114



「ロングコース」スタートの様子

# 源流の森を駆ける 第6回飛騨位山トレイル開催

ドローン撮影：  
反保 浩幸さん

「2023 第6回飛騨位山トレイルハイライト」は、こちらから↑  
(このQRコードからのみ視聴できる限定公開動画です)

10月7日、8日、ダウンヒル、ロング、ショート、ファミリーコースに、ミドルコースが加わり、250名を超える選手が位山、川上岳を駆け抜けました。昨年は、悪天候のため1日目のダウンヒルしかできませんでしたが、今年は全種目実施することができました。今年も、保育園児・小学生・中学生が大会を盛り上げるために活躍しました。（関連記事3ページ）

なお、キイロスズメバチに刺された参加者がいました。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

## TOPIC! ファミリーコースも盛況



クイズやゲームをしながら、トレイルのプレ体験

同時開催のファミリーコース（まち協体育部主催）では、家族連れなど100名を超える参加者がありました。

参加費無料で「位山遊びの散歩道」をコースとする1周約0.5kmをクイズやゲームをしながらトレイルのプレ体験をするもので、エイド体験では、お菓子のつかみ取りなどもありました。

ゴール後には、モルックの体験もでき、参加者を楽しませました。

# 皆様に感謝を込めて 宮・朝日中 吹奏楽部コンサート

9月16日(土)一之宮公民館ホールにて、宮・朝日中学校吹奏楽部合同主催の「ありがとうコンサート」が開かれました。

コンサートでは、吹奏楽東海大会に向けた岐阜県大会で銀賞に輝いた曲をはじめ7曲を指揮者と演奏者13名が熱のこもった演奏をし、多くの観客は割れんばかり

の拍手を送っていました。

宮中学校と朝日中学校の合同吹奏楽部の活動は、部員確保のため約25年前から続いてきています。この長い歴史の中で、地域の皆様に披露するコンサートが途中途絶えてしましましたが、顧問の先生方のご努力により数年前から復活しました。少子化で団員の確保が難しい中、このような生徒たちの発表の場が長く続くようにみんなで応援したいと思います。



熱演する生徒たち

## 秋の夜長、銘酒に酔う

### まち協教養講座「ワイン講座」開催

10月6日(金)一之宮公民館にて、一之宮町まちづくり協議会文化教養部主催の名物講座「ワイン講座」が開かれ、お酒好きの老若男女、23名の参加がありました。

講師は今年も、長年務めていただいて

いる坂本雄一さん(久々野町・坂本酒店)。今回のテーマは「日本のワイン」で、生産地で有名な山梨や長野県産のワインをはじめ、今年初めて出荷された久々野町産ワインや熊本県産のワインなど並べられ、ワインの色、香りや味などを比較しながら、ほろ酔い気分の中で講師の坂本さんの説明を真剣?に聞いて、教養と親交を深めました。



参加者全員笑顔で”乾杯”

## みんなで稻刈りだ！

### 実った稻の刈り取り体験

10月12日(木)、宮小学校の4年生27名が、実りの秋真っ最中の田んぼで、たわわに実った稻の刈り取り作業を体験しました。

5月30日の田植え体験の時と同様、大森良仁さんに農家先生をお願いし、鎌での稻の刈り取り方や、刈った稻を乾燥や脱穀して初めて美味しいお米になる話を聞いた後、刈り取り作業に入りました。

多くの児童は農作業の体験がありますが、鎌での作業は初めての児童もあり最初は手間取っていました。それでもさすが宮っ子たちはすぐにコツをつかみ、安全に稻刈り作業をあえることができました。



ここで取れたお米は、食味コンクールに出品します。



4年生全員で稻刈りに励みました

## おめでとう

### 高山市読書感想文コンクール



#### 高学年自由図書の部 最優秀賞

渡瀬智世さん(6年)④

『願いがかなうふしきな日記』

本田有明/著 PHP研究所

#### 中学年自由図書の部 最優秀賞

山崎紘さん(4年)④

『あくりもの』豊福まきこ/作 BL出版

渡瀬さんコメント

タイトルから「どんな話なのかな?」と

思い選びました。主人公が願いをかなえるために頑張っていたところが印象に残っています。

山崎さんコメント

表紙のハムスターの絵にひかれて、動物が好きなので動物がたくさん出てくる話だといいな、と思い選びました。受賞できてうれしかったです。

### 第63回岐阜県相撲選手権大会

小学1年生女子の部 優勝 坂本杏花さん④  
中学生女子総合の部 優勝 坂本杏さん④



### 国体出場(相撲)

#### 田畠 権治郎さん



田畠さんコメント

10月13日~15日までの3日間、鹿児島県奄美大島で特別国民体育大会が行われ、私は岐阜県代表として出場しました。父、清一郎の故郷で行われる大会だったので、より一層強い意識で試合に挑みました。しかし、団体ベスト16という悔しい結果で国体を終え、応援して頂いた方々の期待に応えることができませんでした。この悔しさを糧にこれからもっと稽古を積んで、12月に東京で行われる全日本選手権大会で良い成績を収められるよう頑張ります。

いいね！



一之宮

思わずいいね！したくなる出来事を紹介します

## 位山トレイル応援団～保・小・中の宮っ子がんばる！～

今月号のまち協だよりの表紙で紹介した飛騨位山トレイルの大会に、宮保育園の園児、宮小・中学校の児童生徒が、手作り品やボランティア活動を通して、大会を盛り上げるために活躍しました。保育園年長組の園児は、紙の丸い型紙に色々なテープ等でデコレーションした「メダル」を作りました。また、小学生は全学年で絵や文章を分担して、宮の自慢やメッセージが書かれた「応援カード」を作成し、トレイルに参加した選手に記念として渡しました。



係に分かれて行われたボランティア活動

10月8日(日)の本戦では、中学生全学年の生徒がボランティア参加しました。吹奏楽部は開会式での演奏で花を添え、炊事係は味噌汁の用意を行いました。また声援係はありったけの声を張り上げ、完走してくる参加選手たちを激励するなど、それぞれの持ち場で精一杯のボランティア活動を行いました。

後日、宮小学校に愛知県在住の父親と小学5年生のお子さんで大会に参加した方から、感謝のお手紙が届きました。中には児童個人宛の箇所もあり、児童たちの努力と賛辞が添えられていました。また宮中学校にも同県から参加した選手より、宮中生徒の温かさに包まれ完走できたとの感謝のメールが届きました。(全文は、宮中だよりに掲載中)

宮っ子たちのそれぞれの立場での一つ一つの活動が、一之宮町のファンを増やすことにつながり、大いにまちづくりに貢献してくれました。



記念メダルと応援カード



令和5年4月9日生まれ

《一之宮上》

めい  
**芽生**ちゃん

お父さん: 今井 洋輔さん  
お母さん: 今井 鞠奈さん

「芽生える(めばえる)」という意味を込めて「芽生(めい)」と付けました。妊娠が発覚しまだ性別も分からぬ時に、この子の名前はめいにしよう!と直感的に思いました。

そんな娘は名前の如く、毎日元気いっぱい。沢山お喋りをして、イタズラをして、既にお転婆娘感が溢れ出ています(笑)

娘が2ヶ月を過ぎた頃から支援センターに足を運んだり、ネバーランドの行事に参加したりしています。まだまだできることは少ないですが、お友達をつくったり、体を動かしたり、沢山のおもちゃや本に触れたりし、刺激をもらっています。私自身も話せるママ友ができる嬉しいです。これらも親子で色々な経験をしていきたいです。



## 図書館だより



図書館にあるのは本だけじゃない!

DVDがあり貸出もできます。館内2カ所のブースで観ることもできますよ。大活字本という大きな文字の本があります。文化祭のついでに図書館をのぞいてみませんか?

### <今月の特集>

#### 『アンソロジーソノルマ』

複数の作家が様々なテーマに想いを込めて書いた小説を紹介します。短編集なので普段あまり読まない人でも気軽に読めるアンソロジー。知らない作家に出逢うきっかけにも…。



●今月のおはなし会は11月3日(土)午前10時30分~です。

文化祭作品展ご観覧の際は、ご家族で図書館へお立ち寄りください。また、午後1時~公民館で図書館のDVDを利用した上映会を開催します。入場無料・申込不要 友だちを誘って来てね!

